



## お父さんの「仕事」を見て触れて勉強しよう

### 中川根第一小が社会見学実習を行いました

中川根第一小学校では、10月20日、家の人からその仕事の内容と実際を学ぶ「保護者からプロの技を学ぼう」を行いました。

低学年は、近くの理容店創業80年の「一東軒」を営む山本靖実さんから、「床屋さんのはてな？」というテーマで話をしてもらいました。理容店の歴史や道具の種類を学んだり、普通のはさみとの違いなどを実際に比べてたりして、児童たちは目を輝かせました。また後半は、実際に理容店に出向き、店内の道具や電動椅子の操作を教わったり、洗髪機の体験をしたりしました。

中学年では、校医の渡邊歯科医院院長の渡邊克也さんから「歯医者さんの仕事とフッ素の虫歯予防効果」というテーマで学び、また高学年は、徳山建設の鈴木文昌さんから「この仕事に就いたわけ」というテーマで学びました。子どもたちは、社会には様々な仕事があり、生きがいを持って働く人の姿を見ることで「労働」の大切さを学びました。



床屋さんのはてなさんのはてなが飛び出しました

## 青い海と美しい大地から学ぶ「体験学習」

### 本小児童がB & G海洋体験セミナー（沖縄県）に参加

8月中旬、沖縄県で行われたB & G「海洋体験セミナー」に本川根小学校5年の松原亜柚花さんと益井未来さんが参加しました。B & G「海洋体験セミナー」は、海・自然・水辺に関係する学習や体験活動を通して、青少年を対象に、広く海洋への理解増進を図るとともに、人類と海の係わりを学習することを目的として行われています。

今回参加した2人は、海や自然のことをたくさん学び、団体生活を通して、相手を思いやる心や、コミュニケーションを体験した様子です。感想文をご紹介します。

沖縄での5日間  
本川根小 5年 松原亜柚花

私は沖縄に初めて行きました。飛行機から見ると海は緑色だったけど、近くで見ると青色でした。生まれて初めて体験したことが多く、バナナボートやヨットなど楽しいことがたくさんありました。ヨットは他の班より一人少なかったけど、上手いと言われて嬉しかったです。シュノーケリングは、毎年伊豆でやって慣れているので、せつかく沖縄の海でやれたのに時間が短くて残念でした。でも、サンゴ礁やナマコ、魚をたくさん見ることができたので良かったです。

でも、そのサンゴが最近たくさん死んでいるということを知りました。原因は、サンゴの中に棲んで栄養を分けてくれている虫が、海が暖まったせいで逃げ出してしまい、栄養がもらえなくなって死んでしまう病気になっているという話を聞いて少し驚きました。栄養失調になったサンゴは赤などの色から白色になってしまい、しばらくすると死んでしまうそうです。サンゴはサンゴ虫という虫の巣だと聞いたので、落ちていたサンゴをよく見てみると、本当に小さな穴がブツブツと開いていました。マングローブの林には、たくさん生き物が棲んでいます。マングローブ林を流れる川は、しょっぱくて、海水よりは少し薄い塩水でした。マングローブの林では、めつたにあうことのできないオオウナギにあえました。あとで聞いた話では、オオウナギにあえた班は私たちだけだったということ、とても良かったです。沖縄では、楽しい思い出がたくさんありました。またいつか絶対に沖縄に行きたいと思いました。そして、そのときも海がきれいなままだと思います。

初めての海洋体験セミナー  
本川根小 5年 益井未来

私は初めてB & Gの海洋体験セミナーに参加しました。参加が決まったときは、「初めて沖縄に行ける！嬉しいな」という気持ちでいっぱいでした。でも、行く日が近づいてくるとだんだん不安になってきました。「友だちができるかなあ？できなかったらどうしよう？」と思っていたら、集合場所の空港で早速3〜4人の友だちができました。私は、「良かったあ、とりあえず友だちができた！」と思って少し安心することができました。

沖縄に着いてからは、他の空港から来た人たちとも友だちになりました。ホテルの部屋の友だちは、5年生の私を6年生と見間違えていて、私が5年生だと知ってとても驚いていました。私は、「5年生なのに何で6年生に見間違えられるやうだろうか」と思い、ちょっとショックでした。沖縄での活動中は、やる事が盛りだくさんで大変でした。でも、普通だったら絶対できないことがたくさんありました。沖縄での活動中は、やる事が盛りだくさんで大変でした。でも、普通だったら絶対できないことがたくさんありました。



## 「元気発信！地域の活力商工会」の実現に向けて

### 中川根商工会と本川根商工会が合併契約調印式

10月31日、中川根商工会2階会議室において、立会人に杉山町長、小倉忠一静岡県商工会連合会会長を招いて、中川根商工会（会長：諸田準一さん）と本川根商工会（会長：菊池松巳さん）の合併契約調印式が行われました。

来年4月1日に誕生する川根本町商工会のキャッチフレーズを「元気発信！地域の活力商工会（作者：中村弘司さん）」とし、多数の商工会関係者が見守る中、両商工会長と立会人により契約書に調印がなされました。

調印後は、両商工会長と立会人が握手し、一つになる商工会を力強くアピールしました。中川根商工会諸田準一会長は「新生商工会においては、財政力の強化、より質の高いサービスの提供、地域特産品の振興など、キャッチフレーズに恥じないよう社会情勢に的確に対応した商工会を目指す」と話し、本川根商工会菊池松巳会長は「今まで以上に、会員のため地域に活力を与える商工会となるよう努力していきたい」とあいさつしました。静岡県商工会連合会小倉忠一会長は「合併のメリットを最大限に活かして、より良い商工会を目指して欲しい。町民に愛される地域に愛される商工会になってほしい」と祝辞を述べました。

今ある2つの商工会は、来年4月1日に川根本町商工会に生まれ変わり、現在の中川根商工会が川根本町商工会（本所）として、本川根商工会が本川根支所として業務が開始されます。



合併に向けてガッチリ握手  
左から杉山町長、諸田会長（中川根）、菊池会長（本川根）、小倉県商工会連合会会長

## 名残の月と琴の音色を堪能しました

### 名残の月見会が開催されました

10月23日に、フォーレなかかわね茶茗館でお茶会が開催されました。

煎茶道静風流 長塚幸子先生一門の皆さんが茶箱手前によりお茶を入れ、厳かな雰囲気の中、参加された皆さんはいつもとは一味違う川根茶の味を堪能していました。

また、お茶会前に山田流箏曲藤弦会（代表：藤田邦子さん）の皆さんによる琴の演奏が披露され、晩秋の夜のひとときを過ごしました。



おいしいお茶をいただきました

## 茶名人の手ほどきによる手揉み体験を楽しむ

### 茶手揉み体験ツアーが開催されました

10月31日～11月1日にかけて、茶手揉み体験ツアーが行われました。（会場：農林業センターなど）

午前中、S Lに乗って本町に訪れた19人の参加者たちは、町内の茶名人（全国茶品評会の入賞者など）の丁寧な指導のもと、各班に分かれて熱心に手揉みを学びました。

最初はおそろおそろ揉んでいた参加者たちでしたが、次第に熱が入り、指導する茶名人には会場のあちこちから多くの質問が投げかけられ、会話も弾む体験会となりました。

この日は、寸又峡でゆっくり温泉に浸かって疲れを癒し、翌日（11月1日）水川地区の茶畑を見学したあと、世界お茶まつり会場へと向かっていきました。



初めて手揉みを体験された方が多く、一揉みごと質問を投げかけていました